

今月の題字



熊野第一小学校4年生
藤原 美穂さん



熊野高等学校 3年 田中 彩華さん

熊野高等学校 2年 吉川 萌愛さん

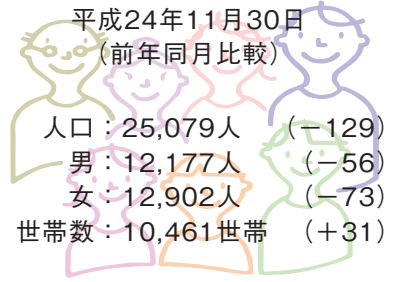


【評】第17回全高書研中国地区高等学校生徒書道展で、広島県知事賞を受賞しました。「伊都内親王願文」の臨書作品です。しなやかな運筆で品良く書き上げています。

【評】第2回高校生デッサンコンクールに出品し、513点の中から大賞に選ばれました。ほかした人物の表現と背景のユリの花の描き方が絶妙です。

町の人口と世帯数

平成24年11月30日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (280)

マンリョウ

(ヤブコウジ科)



艶やかな赤い実が美しく、「万両」の名も縁起が良いため、庭木や鉢植え、お正月の飾りなどにします。19世紀の初め頃からマンリョウと呼ばれ、江戸後期の文政から「万両」の字が定着し始めたと言われます。常緑で高さは普通1m以下ですが、庭では30年伸び続け、2.1mを記録しました。葉は互生し、縁は波状の鈍鋸歯です。鋸歯の間のへこんだ所にぶつと膨らみがあり、葉瘤菌が共生しています。空気中の窒素を固定して植物に与え、植物から水分や養分を得ています。葉瘤菌は主に熱帯の植物に

見られ、日本では稀です。同じ仲間のカラタチバナにも見られます。7月頃、直径8mmほどの白い花が前年出た枝の先に集まって咲きます。実は垂れ下がり直径6〜8mm、晩秋赤く熟します。鳥の好物ですが、地面近くで食べないと次の冬まで残っています。実生でよく発芽します。江戸時代に多くの園芸種が作られ、葉の斑入りや白い実のものなどがあります。関東以西の暖地に分布。町内の山でも見かけますが、真の自生でなく栽培品の逸出ではないかと思えます。上蒲刈島の七国見山で、枝が長く葉も大きくて鋸歯が目立たない型を見ました。「高知県植物誌」記載のオオバマンリョウで、これが本来の自生かと思われます。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ

広告掲載募集!

今年度の広告も残り2ヵ月です。
あなたのお店の広告を広報「くまの」・熊野町ホームページに掲載しませんか?

※詳しくは、総務課 Tel.820-5601

相続・成年後見・遺言

老後頼れる人が居ない場合や、身内に迷惑をかけたくない場合など、成年後見制度や遺言を利用して元気なうちに老後の対策を考えてみられては如何でしょうか?

どうぞお気軽にご相談ください

082-855-1105

伊藤司法書士事務所まで